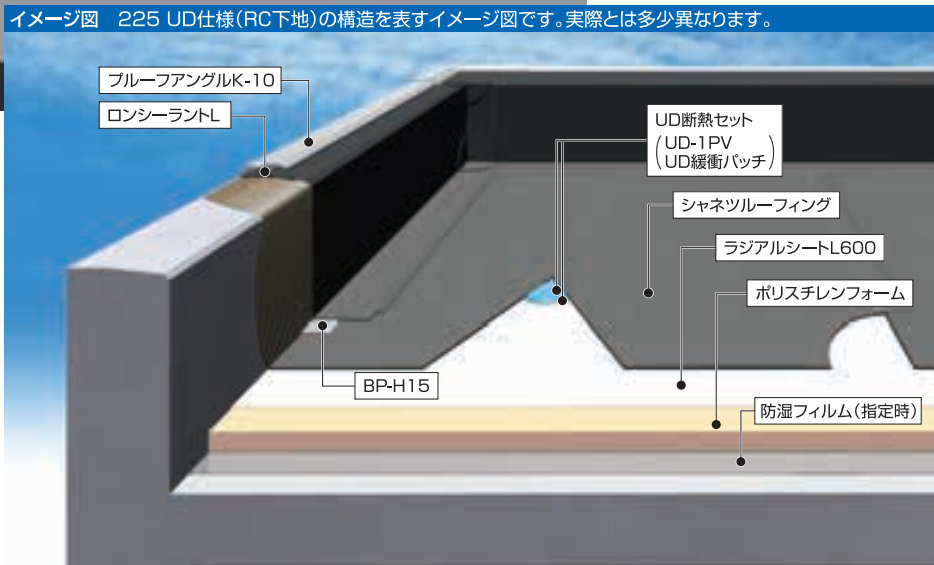
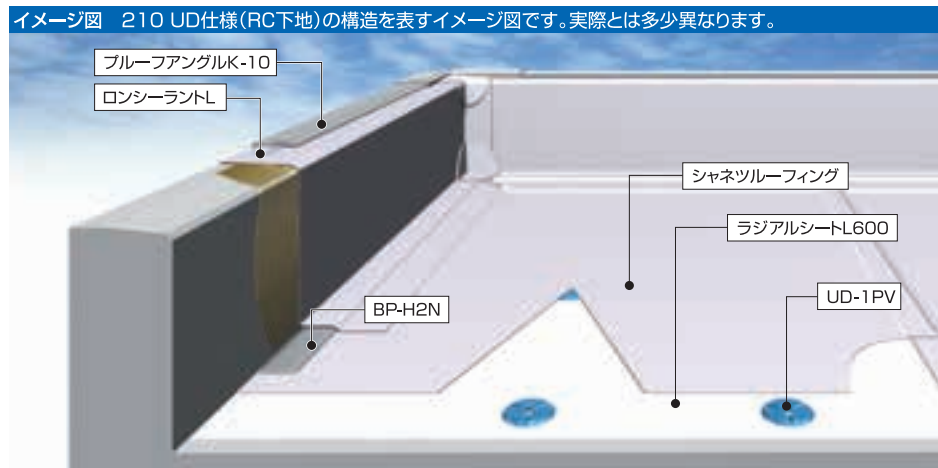


ロンブルーフシャネツ・ベストプ



高反射による高い遮熱性能で建物を熱から保護する高耐久の仕様です。
シート防水業界初の遮熱ルーフィングを使用。冷房費削減、改修サイクルの延長に効果的です。

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **S-F2・S-M2他** 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **S-F2・S-M2他** 日本建築学会 建築工事標準仕様書 (JASS 8) **S-PF・S-PM他**
適合仕様：併用する各仕様に準じます (各仕様ページをご参照ください)。



ロンブルーフェイス (LA) の適合仕様であれば、ルーフィングをロンブルーフシャネツ (LSN) ベストブルーフ (BP) に置き換えるだけで対応します。			
一般工法名称		仕様名	適用可否
接着工法		110仕様	◎
接着・断熱工法		123仕様	◎
接着+機械的固定・断熱工法 (歩行対応)		125・127仕様	○: ロンブルーフシャネツのみ
接着・断熱工法		126仕様	◎
機械的固定工法 (US・UD工法)		210仕様【US・UD工法】	◎
機械的固定・断熱工法 (US・UD工法)		225・227仕様【US・UD工法】	◎
金属下地屋根 接着・断熱工法		SD-B仕様	◎
金属下地屋根 機械的固定・断熱工法 (US・UD工法)		SD-S・EZ仕様、SD-F仕様、SD-1仕様	◎

ルーフシャネツ仕様

グリーン購入法 特定調達品目 適合商品
遮熱 (高反射) 防水工法

仕様表

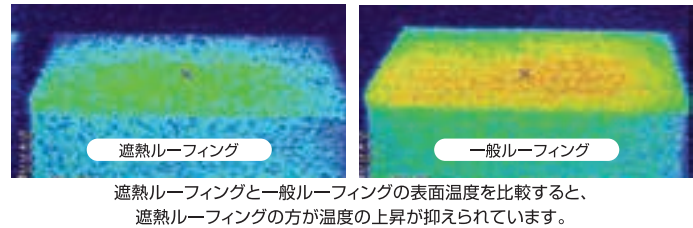
仕様記号		ロンブルーフシャネツ／ベストブルーフシャネツ防水仕様（一例）							
		LSN-210 UD		BSN-210 UD		LSN-225 UD		BSN-225 UD	
適応下地		<div><div><div>RC</div><div>PC</div><div>ALC</div></div><div>（併用する仕様により金属、木質、木毛セメント板の下地にも適応します。）</div></div>							
用 途		<div>歩 行</div>		<div>非歩行</div>		<div>非歩行</div>			
施 工 手 順	1.防湿フィルム			防湿フィルム(国土交通省仕様 SI-M2(寒冷地域)/建築学会仕様 S-PMT(寒冷地域) 指定時)					
	2. 断熱材			ポリスチレンフォーム（押出法ポリスチレンフォーム3種bA）					
	3. 絶縁緩衝シート	ラジアルシートL600、ラジアルシートA		ラジアルシートL600、ラジアルシートA					
	4. ディスク板固定	UD-1PV プラグ・ビス使用 およびEL注入		UD断熱セット(UD-1PV、UD緩衝パッチ) プラグ・ビス使用 およびEL注入					
	5. ルーフィング	ロンブルーフシャネツ (LSN) ベストブルーフシャネツ (BSN)							
	6. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラーシャネツ							
	7. 機械的固定	誘導加熱(UD BOX、UDガイド、UD圧着治具使用)							
	8. 端末処理	ブルーフアングル BP鋼板（絶縁テープ） ロンシーラント							
耐火・防火 (P.183～188参照)		屋根一般仕様の場合	RC・PC・ALC下地：下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。						
		個別認定が必要な場合	ベストブルーフ(BP)が適合する認定に使用できます。						
設計上の注意 遮熱性能を長期的に維持するため定期的なメンテナンスをお願いします。									
適応部位		改 修		オプション（P.57～80）			関連ページ		
併用する仕様に準じます。詳しくは、各仕様ページをご確認ください。									

太陽からの熱を強力に反射! (日射反射率最大約70%※)

遮熱ルーフィングは、一般ルーフィングに比べ、日射反射率を最大約70%と飛躍的に向上させました。強力な反射性能により
躯体の熱変動・蓄熱を少なくし、建物を保護します。

※一般ルーフィングの表面温度80℃の時、グレー色同士の比較

■遮熱ルーフィングの遮熱性能をサーモグラフで見ると...



冷房負荷を低減

屋上の表面温度低減効果により、室内の温度上昇も抑制。一般ルーフィングを用いた同一の防水仕様と比べ冷房負荷が低減します。

耐久性が大幅にアップ! 改修サイクルを延長※

遮熱ルーフィングは高耐久。一般ルーフィングの仕様と比べ改修サイクルを延長でき、ライフサイクルコストの低減が期待できます。

※防水性能の保証は10年です

ヒートアイランド対策に 貢献!

屋上表面温度の低下によりヒートアイランド抑制効果が期待でき、国土交通省及び東京都がガイドラインなどで採用を推奨しています。

詳しくは、単体カタログ「遮熱防水工法」を参照してください。

SD-S・EZ仕様 [US・UD工法]

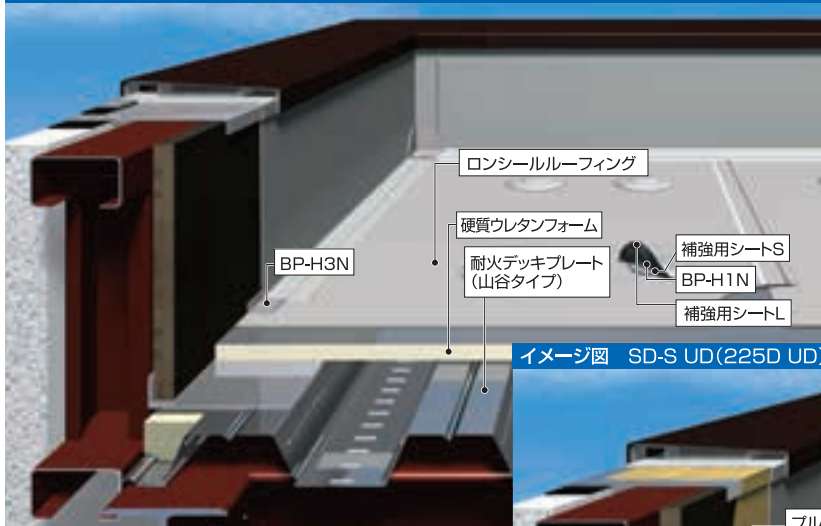
金属下地屋根 機械的固定・断熱工法 (耐火デッキ下地屋根 機械的固定・断熱工法)



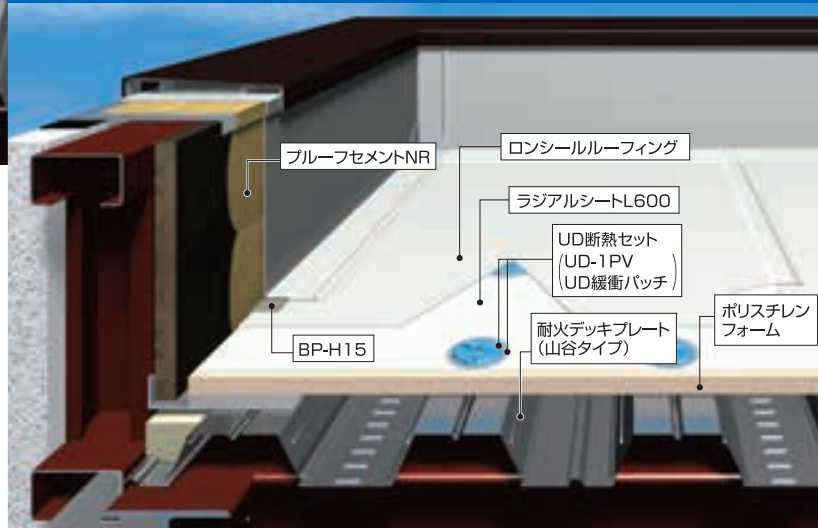
屋根30分耐火認定を取得済みのデッキを下地とした断熱防水仕様です。
すぐれた耐久性・断熱性により軽量の屋根を形成します。

日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) 参考となる仕様(ノ)
適合仕様: BSN-225D・227D・222D / BRS225D・227D・222D / NBP-225D・227D・222D / BP-225D・227D・222D ※左記仕様以外は、特記対応

イメージ図 SD-S US(227D US)仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



イメージ図 SD-S UD(225D UD)仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



建築基準法の厳しい基準をクリアする 耐火・防火性を実現

屋根30分耐火認定を取得済みのデッキを下地としているため、防火地域から一般地域まで広範囲で施工可能です。

大型ショッピングモール・体育館・工場・倉庫・ショールーム
など幅広い用途に対応

耐火認定取得デッキ例

QLルーフ (JFE建材株式会社)
・QLルーフ FP030RF-0064 FP030RF-0326 FP030RF-0327
FP030RF-0328 FP030RF-0413

ニッテツルーフ (日鉄建材株式会社)
・EZ50 FP030RF-0053 ・EZ75 FP030RF-0036 FP030RF-0103
・UA-R FP030RF-0161 ・HYPER FP030RF-0123

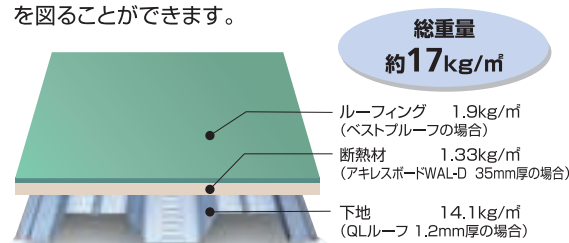
※耐火認定証については、各デッキプレートメーカーにお問い合わせください。

外断熱で建物保護・省エネに貢献

国内のほとんどの地域の省エネルギー基準に対応する外断熱仕様です。建物への負荷を抑え冷暖房費の節約や建物寿命の長期化に貢献します。

軽量構造で工期短縮・コスト低減

防水層全体の軽量化を実現。工期短縮、施工コストの低減を図ることができます。



仕様表

SD仕様 SD-S US / SD-S UD / SD-EZ US / SD-EZ UD ★			
仕様記号	LSN-225D US/UD LA-225D US/UD BSN-225D US/UD NBP-225D US/UD	BRS-225D US/UD BP-225D US/UD BPα-225D US	LSN-227D US/UD LA-227D US/UD BSN-227D US/UD NBP-227D US/UD
			廃番 LSN-222D US/UD LA-222D US/UD BSN-222D US/UD NBP-222D US/UD
適応下地			
金属 (耐火デッキプレート・山谷タイプ)			
用途			
非歩行 点検歩行O			
工法		US工法	
施工手順	1. 断熱材	ポリスチレンフォーム (押出法ポリスチレンフォーム3種bA) + 絶縁緩衝シート	硬質ウレタンフォーム (硬質ウレタンフォーム2種2号) ※受注生産品
	2. ディスク板固定	UD断熱セット (UD緩衝パッチ UD-1PV) ※ポリスチレンフォームの場合のみ絶縁緩衝シート使用	
	3. ルーフィング	ベストブルーフRS (BRS) ベストブルーフα (BPα)* ベストブルーフフェース (LA) ニューベストブルーフ (NBP) ベストブルーフ (BP) *US工法採用時のみ	
	4. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー	
	5. 機械的固定	BP-H1N セルフドリルビス使用 ロンシーラント付け+補強用セット(S-L) 溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー	誘導加熱 (UD BOX、UDガイド、UD圧着治具使用)
	6. 末端処理	ブルーフアングル BP鋼板 (絶縁テープ) ロンシーラント	

耐火・防火 (P.183~188参照)	屋根一般仕様の 場合	屋根30分耐火認定取得の下地を使用します。 耐火認定取得デッキ例参照(P.41) 下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。
	個別認定が 必要な場合	DR-0210取得済み (ベストブルーフナラン(NPN)限定、断熱材:ポリスチレンフォーム・ネオマフォームHB) DR-1988、DR-1987取得済み (LFDシート使用、硬質ウレタンフォーム限定、ベストブルーフRS (BRS)は適用できません。)

適応部位	改修	オプション (P.57~80)	関連ページ
陸屋根 勾配屋根 最適用適	金属下地 対応 (SD-1仕様)	防滑性床材 — 太陽光パネル設置工法 — ロンライン ○ 屋上緑化 △(荷重注意) 保護材 — 保護塗料 ○ 脱気システム ○	ルーフィング …P.81~84 主要副資材 …P.85~113 納まり図例 …P.114~123

設計上の注意	ルーフィング・断熱材の固定位置は、デッキの平滑部に止めつけてください。 風の強い地域・耐風圧性が求められる用途等には、US工法(後付け工法)を推奨します。 0.8mm下地の場合は、ビスの逆ぬけ防止のため、補強鋼板+プチルテープによる下地補強が必要となります。 1.0mm下地の場合も同様に、プチルテープによる下地補強が必要となります。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施工上の注意	絶縁緩衝シートの敷き込み時に、仮固定用接着剤「ロンタックセメント」の使用を推奨します。 ディスク板の固定ピッチは、耐風圧計算に基づいて設定をしてください。 UD BOXはディスクの中心に合わせて使用してください。中心からずれると片ギキを起こし、十分な固定強度が得られません。 UD緩衝パッチとUD-1PVを必ずセットで使用してください。UD緩衝パッチを使用しないと、UD-1PVの所定の接合強度が発揮できません。
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

★SD-S / SD-EZ / SD-F仕様の施工手順は基本的には同じです。下地種別により、仕様名称が変わります。

SD-S仕様	SD-EZ仕様	SD-F仕様
耐火デッキプレート・山谷タイプ (QLルーフ・MAデッキなど) ※スーパーEデッキを除く	耐火デッキプレート・山谷タイプ (スーパーEデッキ限定)	耐火デッキプレート・フラットタイプ

SD-F仕様 [US・UD工法]

環境対応型仕様

露出

機械的固定

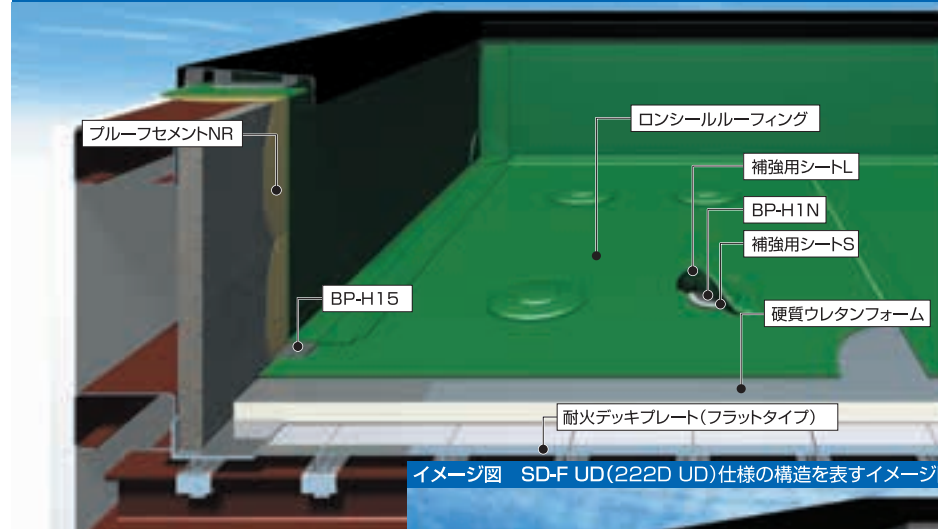
断熱

非歩行
点検程度の歩行は可能

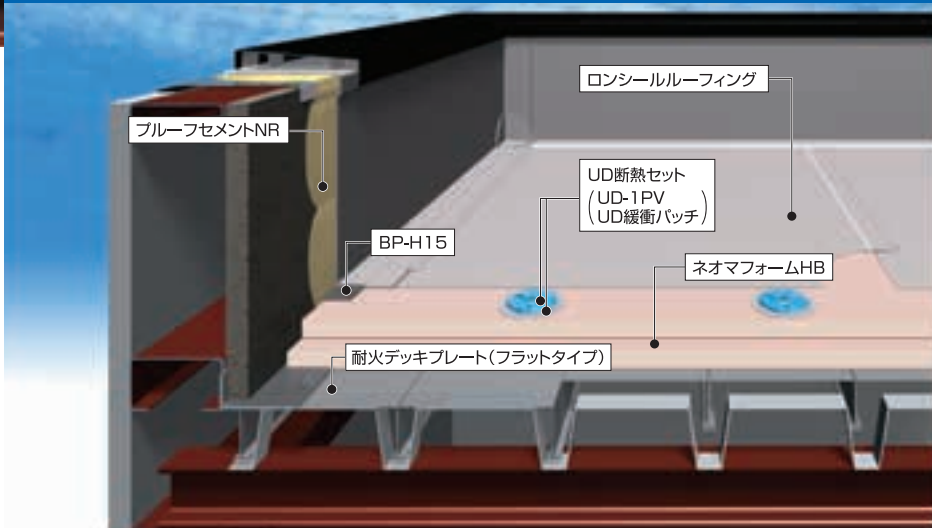
屋根30分耐火認定を取得済みのフラットタイプデッキプレートを下地とした断熱防水仕様です。耐火性・断熱性に加え、フラットルーフならではの美観と作業性も兼ね備えています。

日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) 参考となる仕様(ノ)
適合仕様: BSN-225D・227D・222D / BRS225D・227D・222D / NBP-225D・227D・222D / BP-225D・227D・222D ※左記仕様以外は、特記対応

イメージ図 SD-F US(227D US)仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



イメージ図 SD-F UD(222D UD)仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



建築基準法の厳しい基準をクリアする耐火・防火性を実現

フラットタイプで屋根30分耐火認定を取得済みのデッキを下地としているため、防火地域から一般地域まで広範囲で施工可能です。

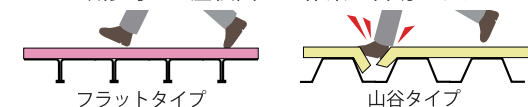
大型ショッピングモール・体育館・工場・倉庫・ショールーム
など幅広い用途に対応

耐火認定取得デッキ例

アイデッキ(東邦シートフレーム株式会社)
・アイルーフ75 FP030RF-1745 FP030RF-1353 FP030RF-0138
・アイルーフ30 FP030RF-0056
※耐火認定書については、各デッキプレートメーカーにお問い合わせください。

断熱材の踏み抜きリスクを軽減

フラットタイプのデッキプレートなので、山谷タイプに比べ、踏み抜きリスクが少なく、施工性にすぐれます。また、メンテナンス・改修時にも屋根面での作業が容易です。



雨音、音鳴りに効果

断熱材とシート防水でデッキプレートを仕上げるので、折板に比べ雨音の軽減や、温度変動による伸縮が抑えられ音鳴りへの効果が期待できます。

金属下地屋根(フラットタイプ) 機械的固定・断熱工法 (耐火デッキ下地屋根(フラットタイプ) 機械的固定・断熱工法)

仕様表

仕様記号		SD-F仕様 SD-F US / SD-F UD ★					
		LSN-225D US/UD BRS-225D US/UD		LSN-227D US/UD BRS-227D US/UD		<div>廃番</div> LSN-222D US/UD BRS-222D US/UD	
		LA-225D US/UD BP-225D US/UD		LA-227D US/UD BP-227D US/UD			
		BSN-225D US/UD BPα-225D US		BSN-227D US/UD			
		NBP-225D US/UD		NBP-227D US/UD		NBP-222D US/UD	
適応下地		<div>金属下地</div> (耐火デッキプレート・フラットタイプ)					
用途		<div>非歩行</div> 点検歩行○					
工法		US工法				UD工法	
施工手順	1. 断熱材	ポリスチレンフォーム (押出法ポリスチレンフォーム3種bA) +絶縁緩衝シート		硬質ウレタンフォーム (硬質ウレタンフォーム2種2号) ※受注生産品		ネオマフォームHB (フェノールフォーム1種2号CII) ※受注生産品	
	2. ディスク板固定	—		UD断熱セット (UD緩衝パッチ UD-1PV) ※ポリスチレンフォームの場合のみ絶縁緩衝シート使用		セルフドリルビス使用 ロンシーラント付け	
	3. ルーフィング	ロンブルーファシャネット(LSN)	ベストブルーファシャネット(BSN)	ベストブルーRS(BRS)	ベストブルーα(BPα)*		
	4. ルーフィング接合	ロンブルーフェース(LA)	ニューベストブルー(NBP)	ベストブルー(BP)	*US工法採用時のみ		
	5. 機械的固定	溶剤溶着 熱風融着 ブルーシーラー			誘導加熱(UD BOX、UDガイド、UD圧着治具使用)		
	6. 末端処理	ブルーファンダブル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント					
耐火・防火 (P.183～188参照)		屋根一般仕様 の場合		屋根30分耐火認定取得の下地を使用します。 耐火認定取得デッキ例参照(P.43) 下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。			
		個別認定が 必要な場合		DR-0210取得済み (ベストブルーファンネン(BPN)限定、断熱材:ポリスチレンフォーム・ネオマフォームHB) DR-1988、DR-1987取得済み (LFDシート使用、硬質ウレタンフォーム限定、ベストブルーRS(BRS)は適用できません。)			
適応部位		改修		オプション (P.57～80)		関連ページ	
<div>陸屋根</div> <div>勾配屋根</div> <div>最適</div> <div>適応</div>		<div>金属下地</div> <div>△</div> 対応(SD-1仕様)		防滑性床材 — 太陽光パネル設置工法 — ロンライン ○ 屋上緑化 △(荷重注意) 保護材 — 保護塗料 ○ 脱気システム ○		ルーフィング …P.81～84 主要副資材 …P.85～113 納まり図例 …P.114～123	

設計上の注意
ルーフィング・断熱材の固定位置は、デッキの平滑部に止めつけてください。
風の強い地域・耐風圧性が求められる用途等には、US工法(後付け工法)を推奨します。
0.8mm下地の場合は、ビスの逆めけ防止のため、補強鋼板+ブチルテープによる下地補強が必要となります。
1.0mm下地の場合も同様に、ブチルテープによる下地補強が必要となります。

施工上の注意
絶縁緩衝シートの敷き込み時に、仮固定用接着剤「ロンタックセメント」の使用を推奨します。
ディスク板の固定ピッチは、耐風圧計算に基づいて設定をしてください。
UD BOXはディスクの中心に合わせて使用してください。中心からずれると片ギキを起こし、十分な固定強度が得られません。
UD緩衝パッチとUD-1PVを必ずセットで使用してください。UD緩衝パッチを使用しないと、UD-1PVの所定の接合強度が発揮できません。

★SD-S/SD-EZ/SD-F仕様の施工手順は基本的には同じです。下地種別により、仕様名称が変わります。

SD-S仕様	SD-EZ仕様	SD-F仕様
耐火デッキプレート・山谷タイプ (QLルーフ・MAデッキなど)※スーパーEデッキを除く	耐火デッキプレート・山谷タイプ (スーパーEデッキ限定)	耐火デッキプレート・フラットタイプ

SD-S(DR-1648)仕様 廃番

環境対応型仕様

露出

機械的固定

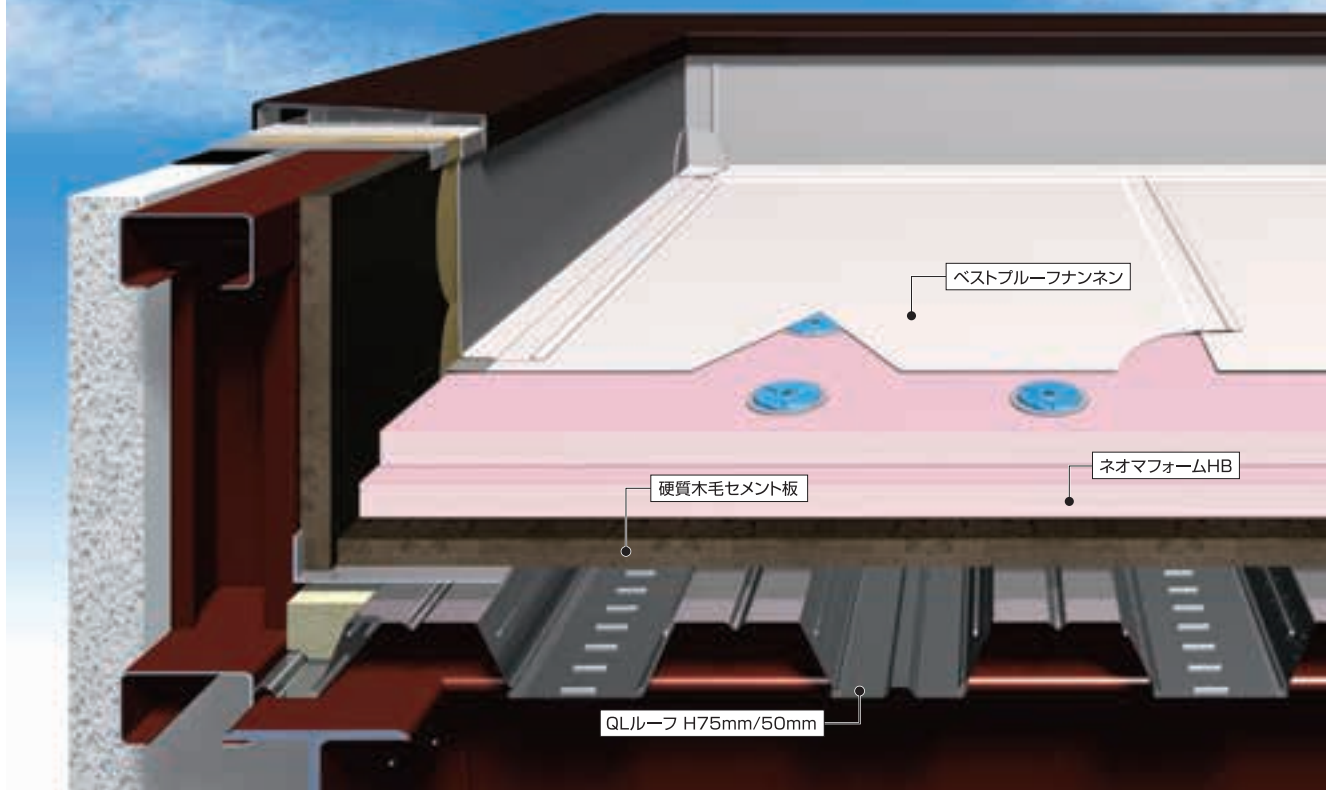
断熱

非歩行
点検程度の歩行は可能

耐火デッキプレートに硬質木毛セメント板を敷き込み、踏み抜け対策をした高断熱対応工法です。断熱材厚み35mm～150mmの条件に適用できます。

日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) 参考となる仕様(ノ)
適合仕様：特記対応

イメージ図 SD-S UD(BPN-222WD UD)仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



建築基準法の厳しい基準をクリアする耐火・防火性を実現

屋根30分耐火認定を取得したQLルーフを下地とし、防火(飛び火)認定も取得。防火地域から一般地域まで広範囲で施工可能です。

使用可能な耐火デッキプレート

QLルーフ (JFE建材株式会社)
・QLルーフ FP030RF-0413 FP030RF-0328 FP030RF-0327
FP030RF-0326 FP030RF-0064

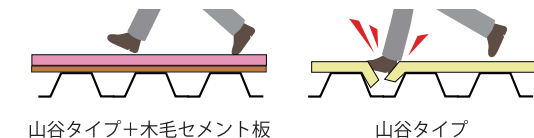
※耐火認定書については、JFE建材株式会社にお問い合わせください。

※防火(飛び火)認定の都合、使用可能なデッキプレート、断熱材、防水シートに制約があります。

※FPIIS屋根(P.124)とは異なり、防水層まで含んだ耐火認定ではありませんので、ご注意ください。

断熱材の踏み抜きリスクを軽減

山谷タイプのデッキプレートの上に木毛セメント板を敷きこみ、屋上防水専用のネオマフォーム「ネオマフォームHB」を使用することで、山谷タイプ単独に比べ、踏み抜きリスクを軽減します。



すぐれた省エネルギー性能を発揮

断熱材には、高い断熱性能を発揮するネオマフォームHBを使用するとともに、断熱材厚み150mmまでの飛び火認定を取得。すぐれた省エネルギー性能を発揮します。

[US・UD工法] 金属下地屋根 機械的固定・断熱工法 (耐火デッキ下地屋根 機械的固定・断熱工法)

仕様表

仕様記号		SD-S(DR-1648)仕様 SD-S(DR-1648)US / UD	
		BPN-222WD US	BPN-222WD UD
適応下地		<div>金属</div> (JFE建材製 QLデッキ指定) + <div>木毛セメント板</div> (指定木毛セメント板)	
用途		<div>非歩行</div> 点検歩行O	
施工手順	1. 断熱材	ネオマフォームHB 35mm～150mm ※受注生産品 (フェノールフォーム1種2号CII)	
	2. 断熱材仮固定・ディスク固定	BP-H1N セルフドリルビス ロンシーラント付け	UD断熱セット (UD緩衝パッチ UD-1PV) セルフドリルビス使用 ロンシーラント付け
	3. ルーフィング	ベストブルーナンネン(BPN)	
	4. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー	
	5. 機械部固定(US) 固定部補強	BP-H1N セルフドリルビス ロンシーラント付け +補強用セット(補強用シートS-L)	—————
	6. 補強部接合(US)	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー	—————
	7. 機械的固定(UD)	—————	誘導加熱(UD BOX、UDガイド、UD圧着治具使用) ※UDガイドは、UD BOX I-II使用時
	8. 端末処理	ブルーフアングル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント	
耐火・防火 (P.183～188参照)		屋根30分耐火認定下地を使用し、防火(飛び火)認定を取得しています。 防火(飛び火)認定：DR-1648取得済み	

適応部位	改修	オプション (P.57～80)	関連ページ
<div>陸屋根</div> 最適 <div>勾配屋根</div> 適応	非対応	防滑性床材 — 太陽光パネル設置工法 — ロンライン — 屋上緑化 — 保護材 — 保護塗料 — 脱気システム —	ルーフィング …P.81～84 主要副資材 …P.85～113 納まり図例 …P.114～123

設計上の注意

飛び火認定工法ですので、下地デッキプレート・木毛セメント板・断熱材・ルーフィングの変更はできません。
 下地デッキプレート:QLデッキ(QL99-75-12Y t=1.2mm, QL99-75-16Y t=1.6mm, QL99-50-12Y t=1.2mm,または QL99-50-16Y t=1.6mm指定、JFE建材株式会社)
 木毛セメント板:高圧ホクトンボード t=25mm(株式会社 北日本ダイエイ)または、TSボード t=25mm(竹村工業株式会社)または、ダイワハイボードS t=25mm(大和建材工業株式会社)
 ルーフィング:断熱材の固定位置は、デッキの山高部に止めつけてください。
 風の強い地域・耐風圧性が求められる用途等には、US工法(後付け工法)を推奨します。

施工上の注意

ディスクの固定ピッチは、耐風圧計算に基づいて設定をしてください。
 UD BOXはディスクの中心に合わせて使用してください。中心からずれると片ギキを起こし、十分な固定強度が得られません。
 UD緩衝パッチとUD-1PVを必ずセットで使用してください。UD緩衝パッチを使用しないと、UD-1PVの所定の接合強度が発揮できません。
 硬質木毛セメント板・断熱材の目地はすらして施工してください。

SD-1仕様 [US・UD工法]

環境対応型仕様

露出

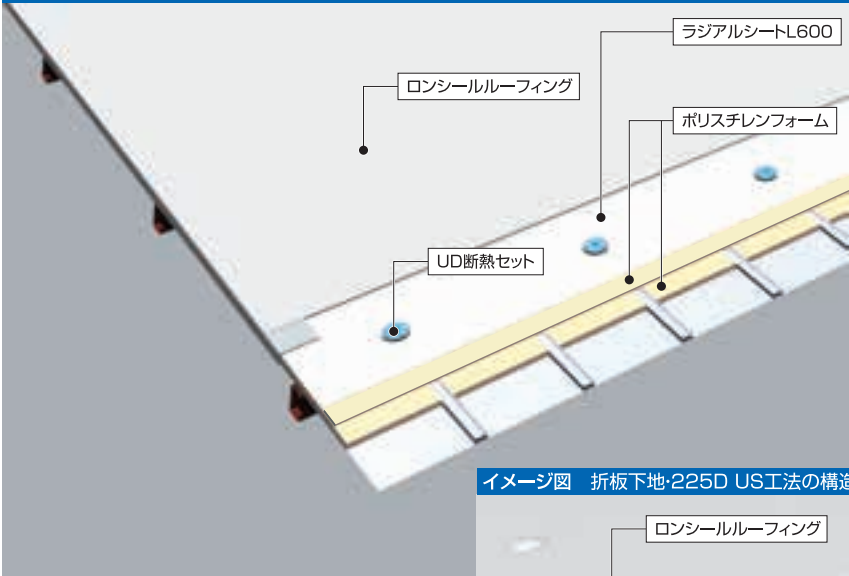
機械的固定

断熱

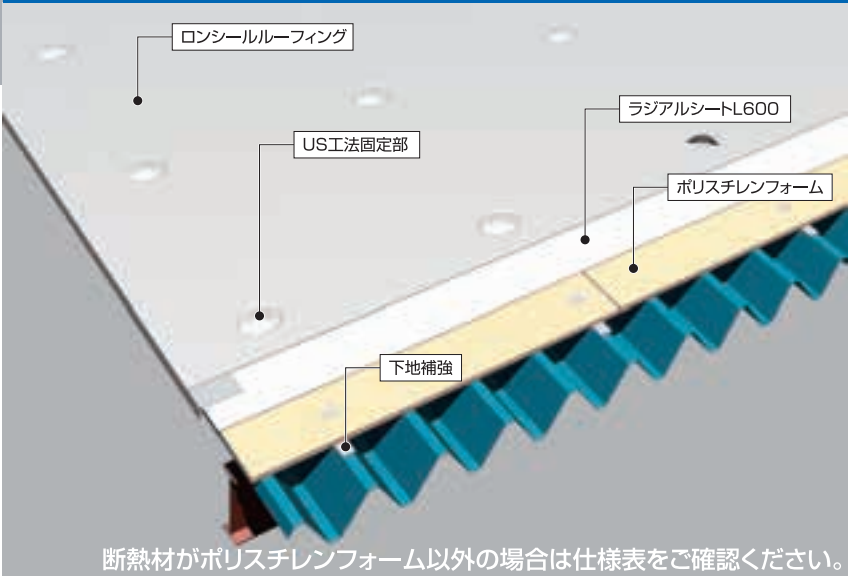
非歩行
点検程度の歩行は可能

省エネ効果にすぐれ、室内への雨音も軽減できる外断熱工法です。
折板・瓦棒・フラットデッキなど、様々な金属屋根の改修に適しています。

イメージ図 瓦棒下地・225D UD工法の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



イメージ図 折板下地・225D US工法の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



断熱材がポリスチレンフォーム以外の場合は仕様表をご確認ください。

金属瓦棒の屋根

金属瓦棒屋根でも、外断熱工法でグレードアップ

改修前



改修後



金属折板の屋根

金属折板屋根でも外断熱工法でグレードアップして、
防水機能を復活させることができます。

改修前





改修後



金属下地屋根（瓦棒・折板等）機械的固定・断熱改修工法

仕様表

仕様記号		SD-1仕様				
		SD-1 US	SD-1 UD			
		LSN-225D / 227D+222D-US LA-225D / 227D+222D-US BSN-225D / 227D+222D-US NBP-225D / 227D+222D-US	BRS-225D / 227D+222D-US BP-225D / 227D+222D-US BPα-225D US LSN-225D / 227D+222D-UD LA-225D / 227D+222D-UD BSN-225D / 227D+222D-UD NBP-225D / 227D+222D-UD			
適応下地		 (耐火認定外)				
用途						
施工手順	1. 断熱材	ポリスチレンフォーム (押出法ポリスチレンフォーム3種bA)	硬質ウレタンフォーム (硬質ウレタンフォーム2種2号) ※受注生産品	ネオマフォームHB (フェノールフォーム1種2号CII)	<div>廃番</div>	
	2. 絶縁緩衝シート	ラジアルシートL600、ラジアルシートA ※ポリスチレンフォーム採用時のみ使用				
	3. ディスク固定	UD断熱セット(UD緩衝パッチ UD-1PV) セルフドリルビス使用 ロンシーラント付け				
	4. ルーフィング	ロンブルーファシャネツ(LSN) ベストブルーファシャネツ(BSN) ベストブルーRS(BRS) ベストブルーPα(BPα)* ロンブルーフェース(LA) ニューベストブルーP(NBP) ベストブルーP(BP) ※US工法採用時のみ				
	5. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーシーラー				
	6. 機械的固定	BP-H1N セルフドリルビス ロンシーラント付け	誘導加熱(UD BOX、UDガイド、UD圧着治具使用)			
	7. 固定部補強	補強用セット				
	8. 補強部接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーシーラー				
	9. 端末処理	ブルーファングル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント				
耐火・防火 (P.183～188参照)		屋根一般仕様 の場合	屋根一般仕様適応外の下地です			
		新築時に個別認定が 必要な場合	DR-0210取得済み [適応下地] 折板 ※瓦棒適用外※詳細は飛び火認定書をご確認ください (ベストブルーファンネン(BPN)限定、断熱材:ポリスチレンフォーム・ネオマフォームHB)			
適応部位		改修	オプション (P.57～80)		関連ページ	
<div> 陸屋根 最適</div> <div> 勾配屋根 適応</div>		<div> 金属 下地 適応</div>	防滑性床材 — 太陽光パネル設置工法 — ロンライン ○ 屋上緑化 △(荷重注意) 保護材 — 保護塗料 ○ 脱気システム ○		ルーフィング …P.81～84 主要副資材 …P.85～113 納まり図例 …P.114～123	

設計上の注意

ルーフィング・断熱材の固定位置は、下地の平滑部に止めつけてください。
風の強い地域・耐風圧性が求められる用途等には、US工法(後付け工法)を推奨します。
0.8mm下地の場合は、ビスの逆めけ防止のため、補強鋼板+プチルテープによる下地補強が必要となります。
1.0mm下地の場合も同様に、プチルテープによる下地補強が必要となります。

施工上の注意

瓦棒下地の場合には、原則、母屋に固定してください。
金属下地の厚みが確保できない場合は、施工できません。
絶縁緩衝シートの敷き込み時に、仮固定用接着剤「ロンタックセメント」の使用を推奨します。
ディスクの固定ピッチは、耐風圧計算に基づいて設定をしてください。
断熱材の敷き込みと同時に、断熱材の仮固定が必要となります。(SD-1 USのみ)
UD BOXはディスクの中心に合わせて使用してください。中心からずれると片ギキを起こし、十分な固定強度が得られません。(SD-1 UDのみ)
UD緩衝/パッチとUD-1PVを必ずセットで使用してください。UD緩衝/パッチを使用しないと、UD-1PVの所定の接合強度が発揮できません。(SD-1 UDのみ)

詳しくは、単体カタログ「SD-1 改修工法/パンフレット」を参照してください。

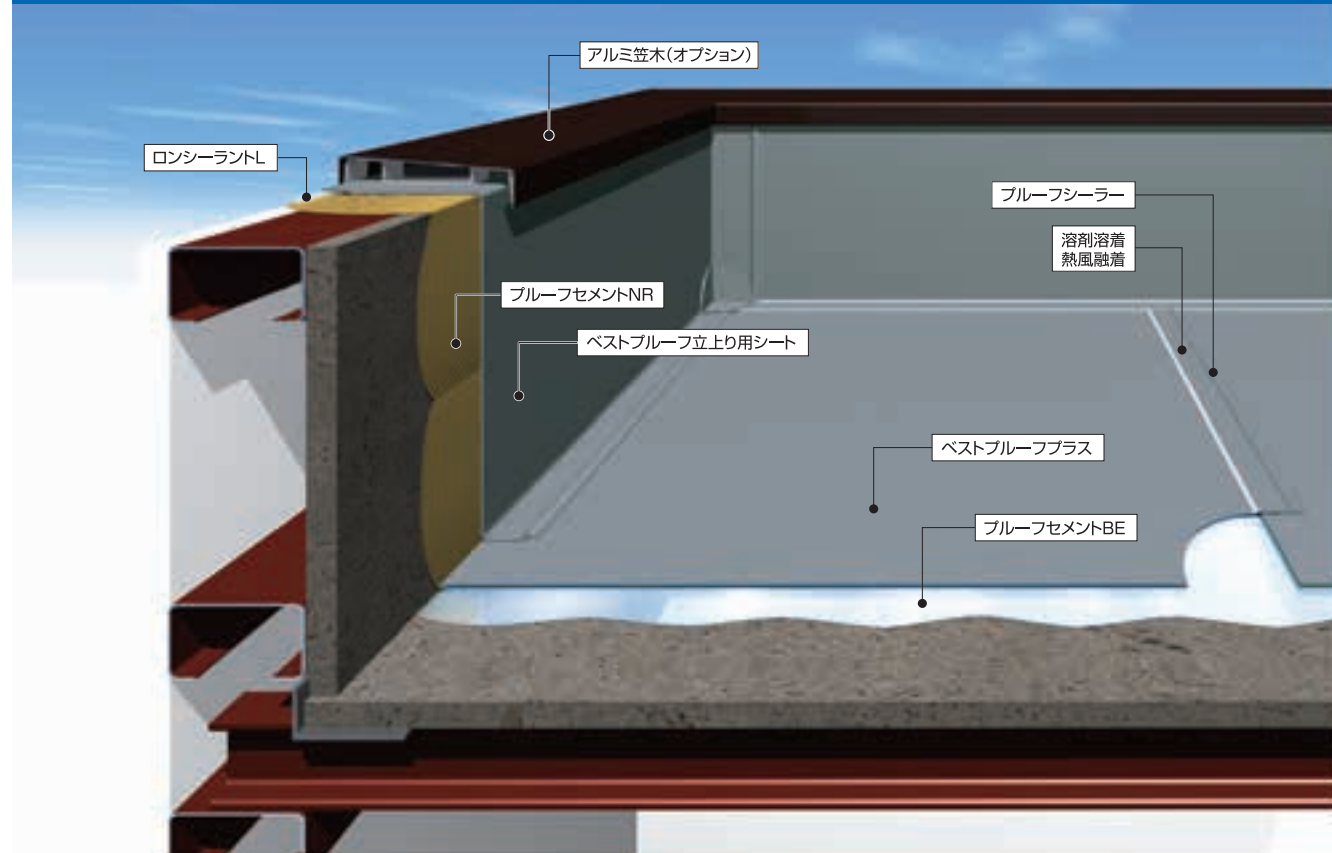
ベストブルーフプラス仕様



木片セメント板やアイデッキなど、さまざまな下地に直接施工できる防水仕様です。
施工工程を簡易化することにより、トータルコストの削減にも貢献します。

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **S-F2** 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **S-F2** 日本建築学会 建築工事標準仕様書 (JASS 8) **S-PF**
適合仕様：特記仕様対応

イメージ図 ベストブルーフプラス仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



さまざまな下地に適応します

デッキプレート(フラットタイプ)・木片セメント板等への、直接張付けが可能です。



施工工程の短縮にも効果的

ルーフィングに緩衝用シートが一体化されているため、作業効率を大幅にアップ。
下地の動きに影響されず、しわがよらず美しく仕上がります。



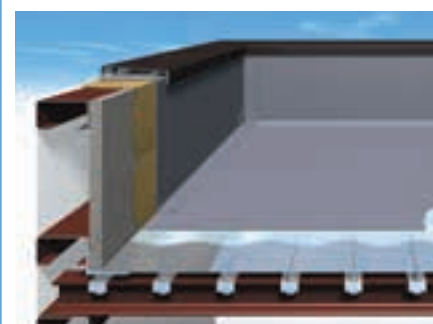
下地処理簡略化・接着工法

仕様表

仕様記号		ベストブルーフプラス仕様		
		BPP-110		
適応下地		<div>RCPCALC金属木質木片セメント板</div>		
用 途		<div>非歩行 点検歩行O</div>		
施 工 手 順	1. 下地処理	ALC下地の場合：ロンバインダー（原液換算で50g/㎡） 金属下地の場合：ウレタンブラサフ（0.24kg/㎡）※垂鉛メッキ品は不要		
	2. 接着剤塗布	平場　：ブルーフセメントBE（0.35～0.45kg/㎡・片面）※デッキプレート（フラットタイプ）の場合は両面に塗布 立上り：ブルーフセメントNR（0.4～0.6kg/㎡・両面）		
	3. ルーフィング	平場：ベストブルーフプラス（BPP） 立上り・ドレイン廻り：ベストブルーフ立上り用シート		
	4. ルーフィング接合	溶剤溶着　熱風融着　ブルーフシーラー		
	5. 端末処理	ブルーフアングル　BP鋼板（絶縁テープ）　ロンシーラント		
耐火・防火 （P.183～188参照）		屋根一般仕様の場合	RC・PC・ALC下地：下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。	
		個別認定が必要な場合	フラットデッキ下地（アイデッキ）： DR-0049取得済み 木質下地（合板9mm×2枚）　　： DR-0097取得済み 木片セメント板下地　　　　　： DR-1001取得済み	
適応部位		改　修	オプション（P.57～80）	関連ページ
<div><div>陸屋根 最適</div><div>勾配屋根 最適</div></div>		<div><div>コンクリート下地 最適</div><div>露出防水下地 対応可</div><div>金属下地 最適</div></div>	<div>防滑性床材 太陽光パネル設置工法 ロンライン 屋上緑化 保護材 保護塗料 脱気システム</div> <div>△（下地に依存） △（下地に依存） ○ △（下地に依存） △（荷重注意） ○ ○</div>	<div>ルーフィング　…P.81～84 主要副資材　　…P.85～113 納まり図例　　…P.114～123</div>

設計上の注意

※飛び火認定取得条件ごとに、下地に制約がございます。詳しくは個別ページをご参照ください。
※平場・立上りの下地・構造により入隅鋼板を併用する場合があります。



屋根30分耐火認定を取得したデッキプレート(フラットタイプ)であれば、耐火建築物として使用できます。
例)
ロックウール被覆アイデッキ
(耐火認定番号 FP030RF-9019)
アイルーフ75
(耐火認定番号 FP030RF-1745 / FP030RF-1353 / FP030RF-0138)
アイルーフ30
(耐火認定番号 FP030RF-0056)
※アイルーフは東邦シートフレーム株式会社の製品です。
下地にフラットデッキを使用したベストブルーフプラス仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。

改修工法については、
単体カタログ
「ベストブルーフプラス
接着改修工法(パンフレット)」を
参照してください。

ロンレタン防水U-2・3仕様

環境対応型仕様

※対応には条件があります

MOCA不使用

露出

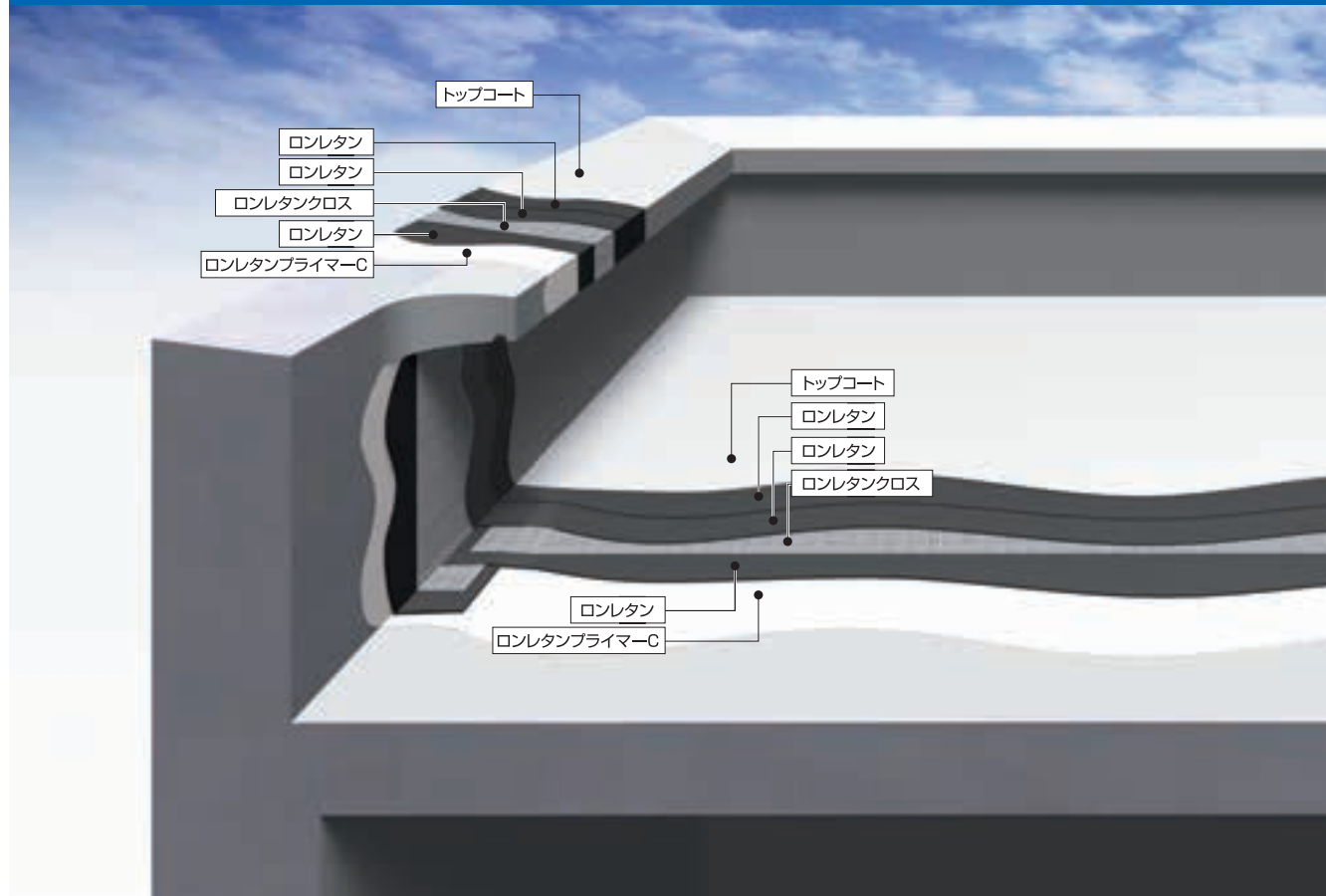
密着

歩行

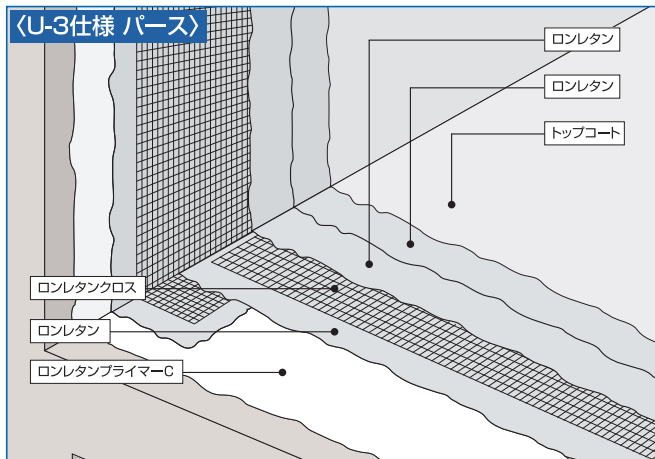
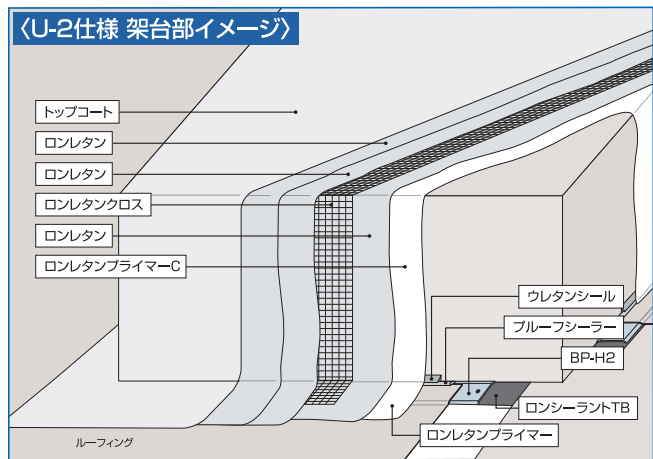
シート防水だけでは施工が困難な箇所に最適な工法です。

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **X-2** 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **X-2** 日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) **L-UFS**
適合仕様：U-2

イメージ図 ロンレタン防水仕様U-2の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



ロンレタン(立上り用)の代わりにロンレタンLW(立上り用)、ロンレタンプライマーの代わりにロンレタンプライマーECも使用可能です。



ウレタン塗膜防水工法

仕様表

仕様記号		ロンレタン防水仕様			
		U-2 (3.0mm厚)		U-3 (2.0mm厚)	
適応下地		<div>RCPCALC</div>			
用 途		<div>歩 行</div>			
部 位		平場 (3.0mm厚)	立上り (2.0mm厚)	平場 (2.0mm厚)	立上り (2.0mm厚)
施 工 手 順	1. 下地処理	ロンレタンプライマーC または ロンレタンプライマーEC (0.2kg/㎡)			
	2. ウレタン塗膜材	ロンレタン または ロンレタンLW (0.3kg/㎡)	ロンレタン立上り用 または ロンレタンLW立上り用 (0.5kg/㎡)	ロンレタン または ロンレタンLW (0.3kg/㎡)	ロンレタン立上り用 または ロンレタンLW立上り用 (0.5kg/㎡)
	3. 補強材	ロンレタンクロス または ロンレタンクロスPEs			
	4. ウレタン塗膜材	ロンレタン または ロンレタンLW (2.0kg/㎡)+(1.6kg/㎡)	ロンレタン立上り用 または ロンレタンLW立上り用 (1.1kg/㎡)+(1.0kg/㎡)	ロンレタン または ロンレタンLW (2.3kg/㎡)	ロンレタン立上り用 または ロンレタンLW立上り用 (1.1kg/㎡)+(1.0kg/㎡)
	5. トップコート	ロンレタントップコート(0.2kg/㎡)、ロンレタントップコートシャネツ(0.3kg/㎡)、ロンレタントップコートSi(0.3kg/㎡)			
耐火・防火 (P.183～188参照)		屋根一般仕様の のみ	RC・PC・ALC下地：下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。		

適応部位	改修	オプション (P.57～80)	関連ページ
陸屋根 バルコニー 最適 最適	コンクリート下地 露出防水下地 最適 対応可	防滑性床材 ○ 太陽光パネル設置工法 — ロンライン — 屋上緑化 — 保護材 ○ 保護塗料 — 脱気システム —	ルーフィング …P.81～84 主要副資材 …P.85～113 納まり図例 …P.114～123

設計上の注意	U-2仕様の立上り面は、U-3仕様と同じです。(平均塗膜厚：2.0mm、ロンレタン立上り用使用) 下地が、塩ビシート防水・金属の場合には、ロンレタンプライマーCの代わりに、ロンレタンプライマー(0.2～0.3kg/㎡)を使用します。 下地が、ウレタン塗膜防水、および塗り重ね間隔が開いた場合には、ロンレタンプライマーF(0.15kg/㎡)を使用します。 トップコートは、3～5年の塗り替えをお勧めします。 環境対応型仕様：プライマーにロンレタントップコートEC、トップコートにロンレタントップコートシャネツまたはロンレタントップコートSiなどを選択するとTXフリー、特化則・有機則非該当仕様となります。
施工上の注意	塗り重ね間隔は、通常3日以内です。それ以上の間が開いた場合には、ロンレタンプライマーF(0.15kg/㎡)を使用するか、サンディング処理をしてから重ね塗りをしてください。

ロンレタン防水工法 用途適用区分

工法	適用部位	屋根		ひさし		開放廊下・バルコニー	
	適用下地	RC	PC	RC	PC	RC	PC
U-2		○	○	○	○	○	○
U-3		○	○	○	○	○	○

詳しくは、単体カタログ「ロンレタン防水システムガイド」を参照してください。

ロンレタン防水U-4仕様

ウレタン塗膜防水工法

環境対応型仕様

※対応には条件があります

MOCA不使用

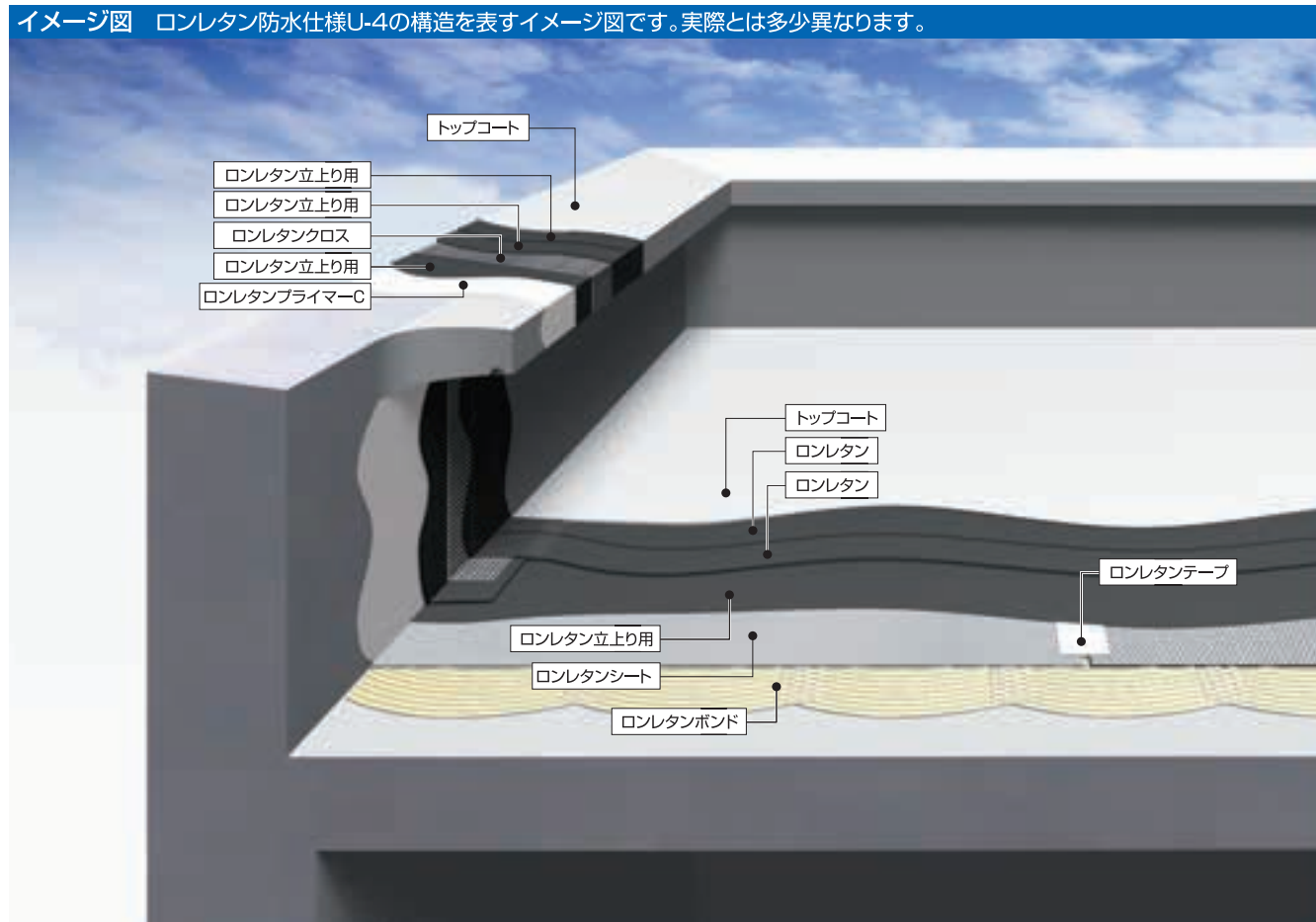
露出

絶縁

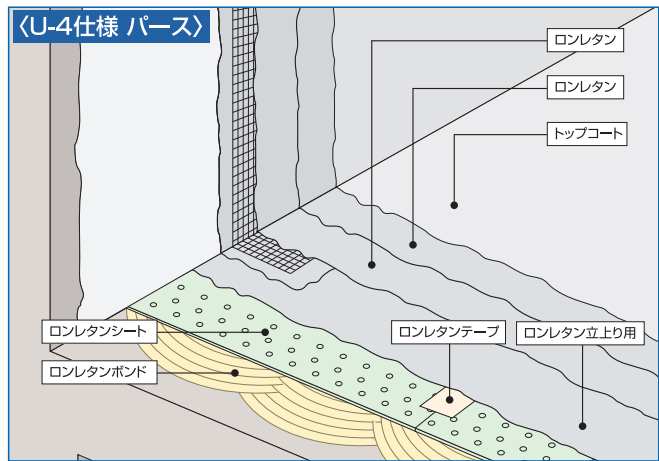
歩行

シート防水だけでは施工が困難な箇所に最適な工法です。

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **X-1** 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **X-1** 日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) **L-USS**
適合仕様：U-4



ロンレタン(立上り用)の代わりにロンレタンLW(立上り用)、ロンレタンプライマーの代わりにロンレタンプライマーECも使用可能です。



仕様表				
仕様記号	ロンレタン防水仕様			
	U-4 (通気緩衝工法) (3.0mm厚)			
適応下地	<div>RC</div> <div>PC</div> <div>ALC</div>			
用 途	<div>歩 行</div>			
部 位	平場 (3.0mm厚)立上り (2.0mm厚)			
施 工 手 順	1. 下地処理	ロンレタンボンド (0.3～0.5kg/㎡)	ロンレタンプライマーC または ロンレタンプライマーEC (0.2kg/㎡)	
	2. ウレタン塗膜材	——	ロンレタン立上り用 または ロンレタンLW立上り用 (0.5kg/㎡)	
	3. 補強材・通気シート	ロンレタンシート ロンレタンテープ	ロンレタंकロス または ロンレタंकロスPEs	
	4. ウレタン塗膜材	ロンレタン立上り用 または ロンレタンLW立上り用(1.0kg/㎡) + ロンレタン または ロンレタンLW(1.5kg/㎡)+(1.5kg/㎡)	ロンレタン立上り用 または ロンレタンLW立上り用 (1.1kg/㎡)+(1.0kg/㎡)	
	5. トップコート	ロンレタントップコート(0.2kg/㎡)、ロンレタントップコートシャネツ(0.3kg/㎡)、ロンレタントップコートSi(0.3kg/㎡)		
耐火・防火 (P.183～188参照)		屋根一般仕様 のみ	RC・PC・ALC下地：下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。	
適応部位		改 修	オプション (P.57～80)	関連ページ
<div>陸屋根</div> <div>最適</div> <div>バルコニー</div> <div>最適</div>		<div>コンクリート 下地</div> <div>最適</div> <div>露出防水 下地</div> <div>△ 対応可</div>	防滑性床材 — 太陽光パネル設置工法 — ロンライン — 屋上緑化 — 保護材 △ 保護塗料 — 脱気システム —	ルーフィング …P.81～84 主要副資材 …P.85～113 納まり図例 …P.114～123

設計上の注意	U-4仕様の立上り面は、U-3仕様と同じです。(平均塗膜厚：2.0mm、ロンレタン立上り用使用) 下地が、塩ビシート防水・金属の場合には、ロンレタンプライマーCの代わりに、ロンレタンプライマー(0.2~0.3kg/㎡)を使用します。 下地が、ウレタン塗膜防水、および塗り重ね間隔が開いた場合には、ロンレタンプライマーF(0.15kg/㎡)を使用します。 トップコートは、3~5年の塗り替えをお勧めします。 環境対応型仕様：プライマーにロンレタントップコートEC、トップコートにロンレタントップコートシャネツまたはロンレタントップコートSiなどを選択するとTXフリー、特化則・有機則非該当仕様となります。
施工上の注意	塗り重ね間隔は、通常3日以内です。それ以上の間が空いた場合には、ロンレタンプライマーF(0.15kg/㎡)を使用するか、サンディング処理をしてから重ね塗りをしてください。

工法	適用部位	屋根		ひさし		開放廊下・バルコニー	
	適用下地	RC	PC	RC	PC	RC	PC
U-4		○	○	—	—	○	○

詳しくは、単体カタログ「ロンレタン防水システムガイド」を参照してください。